

平成 24 年 度

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

財団法人くれ産業振興センター

目 次

平成24年度事業計画書 **** 1~4

平成24年度収支予算書 **** 5~8

平成24年度事業計画書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

第1 基本理念

呉の特色ある地域資源・産業集積の強みを活かし、地域内外との様々な連携の強化を図りながら、地域企業の新技術・新製品の開発、新事業の創出、技術の高度化及び販路の開拓に対して支援を行うことで、時代や産業構造の変化に対応するとともに、企業及び企業者の「夢の実現」につなげることにより地域産業の振興及び地域の活性化に大きく貢献する。

第2 基本方針

呉地域は、ものづくりのまちとしての歴史が長く自動車、鉄鋼、船舶、機械など製造業に特化した産業集積があり、その歴史と伝統に培われ裏付けられた高い技術力が地域のこれまでの経済基盤を支えて来た。

しかし、グローバル化の加速と競争激化により日本の国際競争力は低下を続けており、昨年は東日本大震災、原子力発電所の事故、急激な円高、電力供給不安など、産業空洞化の懸念もますます強くなっている。県内では今年2月に地元自動車メーカーの大幅な赤字や半導体大手の会社更生法適用申請などが立て続けに発表されるなど、呉地域を取り巻く経済環境は大きく変化している。

本財団としては、このような景気の変動や産業構造の変化への対応を迫られている呉地域のものづくり産業が、今後も発展していけるよう、引き続き企業の新技術・新製品の開発、新事業の創出、情報化等を支援していくとともに産学官連携、技術伝承、情報発信の促進を積極的に図っていく。

さらには支援規模の大きい国・県等の支援制度も活用していくことで、地域産業集積の核となる企業の育成を図る。

特に、地域資源を活用したビジネスの創出や需要拡大が見込まれる環境、エネルギー、医療、健康福祉、ロボット分野での新産業・新サービス創出の支援に注力していく。

なお、公益財団法人制度改革に対応するため、勤労者福祉サービス部門は本財団から分離し平成24年4月から一般財団法人くれ勤労者福祉サービスセンターとして運営を開始する。

また、本財団は平成25年4月の公益財団法人移行に向けて各種手続きを進めていく。

第3 事業内容

1 調査・相談事業

(1) 相談・アドバイス・橋渡し事業

(1,210千円)

企業の様々な課題や相談に対応し解決を図ることにより、企業活動を加速する。また、必要に応じて大学や公設試験研究機関などの研究者の紹介を行う。さらに、国、県、関係団体などが実施する各種助成制度を的確に把握し、企業やグループに合った助成制度の活用や、提案書・申請書作成等に対するアドバイス等の各種支援を行う。

また、特許など知的財産等に関する相談については、広島県中小企業知財支援センターなどと連携して、発明相談会の開催や企業要望に応じて啓発のための社内研修及び説明会等の開催を支援する。

(2) 企業訪問、企業発掘事業 (243千円)
地域企業の様々な課題の解決を図るため、他の支援機関と連携し、巡回相談や個別相談等を計画的に行うとともに、優れた技術や新技術、新製品等の開拓意欲のある有望な企業の発掘を行う。

(3) セミナー・講演会等開催事業 (300千円)
地域企業の課題に密着した講演会等を実施する。
・ものづくり講演会 1回
・技術経営(MOT)研修会 2回

(4) ものづくり技術伝承事業 (1,000千円)
若手社員が見よう見まねで技術修得していくこれまでの手法から、難解・複雑な熟練技術者の技を動画・アニメーションといった映像を中心とした手法でマニュアル化・デジタル化する費用の一部を補助することで、熟練技術者の持つものづくり技術の伝承を支援する。
・補助限度額 500千円
・補助率 3/4
・採択予定件数 2件

2 新技術、新製品開発支援事業

(1) 大学等シーズ活用セミナー事業 (123千円)
広島大学等県内の高等教育機関及び産総研等公設試験研究機関と連携し、地域企業等のニーズとマッチングするシーズや研究成果の中から、コーディネーターが選定した実践的、実務的なテーマの講座を開催し、企業等の事業化の足がかりとする。
・大学等シーズ活用セミナー 3回

(2) 産学連携スタート補助事業 (2,000千円)
呉市内の中小企業が新製品・新サービスの開発のため、大学や試験研究機関等との共同研究を開始するために要する経費を補助することにより、産学連携の取り組みを促進する。
・補助限度額 500千円
・補助率 10/10
・採択予定件数 4件

(3) 地域産業活性化支援補助事業 (15,000千円)
企業等の提案に基づき、技術の高度化、新分野への進出及び販路拡大等に要する経費の一部を補助することにより、地域産業の活性化を促進する。また、補助事業者に対しては、事業実施の各ステージにおいて積極的な支援を行う。

(中堅・中小企業枠)

・補助限度額 3,000千円
・補助率 2/3
・採択予定件数 4件

(ベンチャー企業等重点支援枠)

・補助限度額 1,000千円
・補助率 2/3
・採択予定件数 3件

(4) 国等受託研究事業

(0千円)

経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業等に積極的に提案し、事業採択となった場合は、事業管理者として研究開発プロジェクトを管理し、事業化まで支援する。

また、受託期間が終了したプロジェクトにおいても、引き続きコーディネーターによる支援機関等との連携など積極的な支援を継続する。

3 創業・販路拡大・異業種交流支援事業

(1) インキュベーション施設入居者支援事業

(470千円)

インキュベーション施設入居者への経営相談や技術相談など、全面的な支援により経営基盤の強化を促進する。また、入居者間の相互理解を目指し、定期的に情報提供や意見交換を目的にした会議や要望に応じて勉強会やセミナーを開催するとともに、新技術・新製品等研究開発成果の発表会の場を設定する。また、施設を有効活用するため、大学や関係機関等に対し、支援内容や施設のPR活動を実施する。

(2) インキュベーション施設指定管理者受託事業

(7,799千円)

当センターの各種企業支援事業と呉市からの指定管理者業務を連携させることにより、インキュベーション施設入居者を含めた創業・ベンチャー支援事業の効果の増大が見込まれることから、引き続き業務を受託する。

(3) 呉自社商品開発推進研究会支援事業

(0千円)

地域企業による共同開発や自社の商品開発を推進し、会員企業の活性化と発展を図ることを目的に設立された「呉自社商品開発推進研究会」の事務局として、総会・役員会の開催及び経理等の事務を補助するとともに、コーディネーターを中心に個別開発・事業化活動について支援する。

(4) くれ企業ビジネスサポートデータベース運営事業

(68千円)

地域企業の新製品・新技術をインターネットを通じて全国に発信し、掲載企業のPRと販路の開拓を図るため、「くれ企業ビジネスサポートデータベース」の運用を行うとともに掲載企業の拡大を図る。

4 情報発信・情報化促進事業

(1) ものづくり技術情報発信事業

(600千円)

当センターホームページ上で地域中小企業が保有するものづくりの技術、製品等の特長をコミック形式で紹介することにより、専門用語や複雑な技術をわかりやすく情報発信する。

(2) ビジネスマッチングくれ事業

(11千円)

自社製品・技術等を産業支援機関や金融機関及び個々の製品・技術の対象業界へ参加を呼びかけた場でプレゼンテーションする機会を設けることで、販路拡大のビジネスパートナー探しや資金調達等を支援する。発表希望者多数の場合は、随時(複数回)開催する。

- (3) 中小企業情報化促進事業 (516千円)
中小企業の経営革新を推進するため、IT活用経営講演会等を開催する。
また、中小企業等の経営革新、情報システム化等を促進し、中小企業の経営基盤の強化や体質改善を図るための「経営革新計画」(ビジネスプラン)の策定を促進するための経営成熟度診断を行い、積極的に経営革新を推進することのできる中小企業の育成を目指す。
・IT活用経営講演会、IT活用事例講演会
・経営成熟度診断(外部専門家に対する謝金)
- (4) FAX・メール直送便事業 (438千円)
当センターや他機関の事業案内、イベント情報及び施策情報等の企業活動に役立つ情報を広く紹介するため、FAX、電子メールで積極的に発信するとともに、登録会員の拡大を図る。
- (5) くれ産業振興センターホームページ運営事業 (210千円)
当センターの事業案内や各種支援制度等を広く周知するため、常に多くのアクセスが期待できる魅力あるホームページ運営を行う。
- (6) パンフレット作成等 (120千円)
当センターの行う事業、各種の支援内容等を広く紹介し周知し、センターの利用促進を図る。

5 その他の事業

- (1) 事業化可能性評価委員会運営 (0千円)
所長、事務局長、コーディネーター、呉市産業部副部長及び必要に応じて招聘する外部専門家により、地域産業活性化支援補助事業等に係る交付審査や呉市インキュベーション施設の入居申込者の資格審査等を行う。
- (2) 財団管理運営 (80,582千円)
地域企業の「夢の実現」を積極的に支援する拠点として効率的で円滑な業務を遂行する。
また、公益法人制度改革に対応し、公益財団法人への移行事務を完了させる。